

小田原市・足柄下地区ごみ処理広域化検討援業務 評価基準表

別紙

①客観的評価

評価項目	評価点	判断基準	得点化の基準
業務の実績（同種業務） 【様式4】	40	平成27年度以降（過去10年間）に受注し、かつ履行した同種業務の実績数（最大4件）	・業務実績 1件につき 10点 （最大4件）
業務の実績（候補地選定業務） 【様式4】	10	平成27年度以降（過去10年間）に受注し、かつ履行した候補地選定業務の実績	・業務実績 1件以上で 10点
配置予定者の同種業務の実績 【様式5】	30	配置を予定する主任技術者が、過去に従事した同種業務の実績数（最大3件）	・業務実績 1件につき 10点 （最大3件）
小計	80		

②企画提案書評価

評価項目	評価点	判断基準	判断基準	
業務工程表	5	効率のかつ効果的に業務を推進することができる具体性、妥当性の高い工程となっている。		
企画提案書	理解度	5	業務内容や背景、課題などを理解している。	評価点×1.0極めて優れる 評価点×0.8優れる 評価点×0.6相当 評価点×0.4やや劣る 評価点×0.2劣る 評価点×0.0不適格
	実施方針	5	本地域のごみ処理を取り巻く現状や課題、これまでの取組等を踏まえた実施方針になっている。	
	効果的な支援	5	業務の工夫、配慮や専門的な視点から効果的な支援が期待できる。	
	具体性・実現性	5	具体的かつ実現可能な手法である。	
	課題と解決策	8	1市3町のごみ処理広域化に関する課題と解決策について、ごみ処理を取り巻く環境の変化や、これまでの取組等を踏まえた確かつ独自性の高い提案がされている。	
	候補地選定	6	ごみ焼却施設及び最終処分場の候補地の選定の考え方や選定手法について、ごみ処理を取り巻く環境の変化や、これまでの取組等を踏まえた確かつ独自性の高い提案がされている。	
プレゼンテーション 及びヒアリング	表現力・ 取組意欲	5	要領を得た分かりやすい説明であり、質疑への応答は的確である。主任技術者は本業務に必要な技術力及びマネジメント能力を有し、取組意欲が感じられる。	
		小計	50	

③価格点

評価項目	評価点	判断基準	判断基準
価格評価	50	参考見積書に記載の見積額を対象として、右に示す方法に基づき価格点を付与する。なお、見積額が上限額を超過している参加事業者は失格とする。	・参加者のうち、価格が最も低額であるものを第1位とし、価格点の満点である50点を付与する。その他の参加者の価格点は、第1位の見積金額（最低価格）と当該参加者の見積価格との比率により算出する。 ・価格点=50点×（最低価格/見積価格） ※小数第1位まで求める（小数第2位を四捨五入）。
小計	50		

①客観的評価	80
②企画提案書評価（50点×7人）	350
③価格点	50
合計	480